

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日 平成 28 年 1 月 29 日			
所属学部・研究科	文学部/研究科 3 年次 (留学開始時点)			
留学先大学	ネバダ大学 リノ校 (国名: アメリカ)			
所属学部・学科等名	Faculty of Humanity			
在籍身分	交換留学生/Exchange student			
留学期間	平成 27 年 8 月 16 日～平成 28 年 1 月 7 日			
<b>1. 渡航について</b>				
ビザについて	ビザの種類: J-1			
	ビザ申請先: 米国総領事館 大阪			
	取得方法, 提出書類: DS-160 フォーム、パスポート、証明写真、面接予約確認書 DS-2019 許可証、SEVIS 費用確認書			
	手続きに要した日数: 約3カ月			
その他必要な事前手続き	海外旅行保険への加入、航空券の購入、住居の確保 各種予防接種			
出国年月日	平成 27 年 8 月 16 日			
経路	成田→サンフランシスコ→リノ			
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (ハウスマネージャー) <input type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	オリエンテーションの日程に関しては事前に大学から案内が来るので、少し余裕をもって到着し、事前に場所や交通手段を確認しておくで安心。オリエンテーションは2日にわたって行われ、銀行口座の立ち上げ方法やカウンセリングなど様々なことに関する説明が行われた。			
帰国年月日	平成 28 年 1 月 9 日			
経路	リノ→サンフランシスコ→羽田			
<b>2. 留学経費について</b>				
所要経費	総額	1300,000	円	
	内訳	渡航費	300,000	円
		保険料	56,000	円
		教科書代(学費)	50,000	円
		宿舍費	400,000	円
		食費	100,000	円
		その他 ( 旅行・娯楽 費)	200,000	円
( 衣料 費)	50,000	円		
( 設備 費)	50,000	円		
<b>3. 授業について</b>				
2015 年 秋 学期	8 月 24 日	～	12 月 20 日	

年 学期	月 日 ~ 月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	最初に英語の4技能に関する留学生向けのテストを受験し、必要に応じて <b>English</b> のクラスを取らなければならない。専門的なアカデミックのクラスについてはアドバイザーの指示のもと自分に合う授業を探し登録する。
単位互換希望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ※有の場合, 所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること
学術面に関する後輩へのアドバイス	授業登録はできるだけ早く進めたほうが良い。人気な授業は定員に達するのが早い。また難しい授業になると事前に入門クラスをとっていないと取れなかったりするので、その入門クラスに対応する授業をとっていたことを証明するためにも、広大の成績英文証明書を持っていくと安心。
<b>4. 生活等について</b>	
(1) 留学先の住居について	
住居の種類	<input type="checkbox"/> 大学の寮 <input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ( )
住居の広さ	約 20 m <sup>2</sup> 同居人の有無 <input type="checkbox"/> 有 ( 人) <input checked="" type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ( )
住居費	1ヶ月当たり 570 ドル (現地通貨) 約 70000 円
住居を決定した方法	<input type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input checked="" type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ( )
留学先での住居全般に関するアドバイス	私がステイした Reno International House は留学生向けのイベントを多数開催してくれるので、人脈を広げやすかった。また一人部屋を選択し、一人の時間をしっかりと持てたことは非常によかったと思う。
(2) 医療について	
1日以上入院を要する 病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> しなかった
入院した場合	により 日入院
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった
掛けた場合	<input checked="" type="checkbox"/> 日本 <input type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ( )
掛け金は	年間 56,000 円 補償額 死亡 10,000,000 円, 入院1日 円 その他 ( )
留学前後での予防接種 の必要の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名	大学から事前にくるしおりを参考に自分に足りないものを広島大学病院で接種した。渡航感染外来は火・木しか空いてないので早めに予約をする必要がある。また同じ種類のものを2回接種する際は2週間期間を空けなければならないため、早くから計画的に考えたほうが良い。それでも足りなかったものをネバダ大学のヘルスセンターで追加接種した。保険がきかないので打つ量にもよるがかなり費用がかかる。
日常的な健康について 不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由:
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	体調を崩した際には、日本から持って行った薬を使っていたため、現地の医療状況についてはよく分からない。友人が歯に関するトラブルで困っていたが、現地ではかなりコストがかかる

	ため歯のケアは日本でしっかりしていったほうが良い。	
留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと	かなり乾燥が激しいため、保湿する必要がある。また夏は大学内の冷房がかなりきいているため、自分で適切な温度調節が必要。昼夜の温度差にも注意。	
(3) 危険を感じた地域, 状況		
ダウンタウンに夜遅く出かけるとお金をせがまれる機会が非常に多い。目を合わせず、聞こえていないふりをして素早く立ち去れば追いかけてくることはあまりないが、女の子は特に一人で夜散歩することは避けるべき。		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
大学内は基本的に Wi-Fi が整っているため、スマートフォンは問題なく使用できるが、大学の外や旅行に出かける際の連絡手段が制限されるのが不安なら、現地でプリペイドタイプの携帯電話を買うこともできる。 現地の学生はかなりカジュアルな恰好をしているため、服装に関してはそこまで気を使う必要はないと感じた。		
<b>5. 帰国後の進路について</b>		
卒業予定年月	平成 29 年 3 月 (当初の卒業予定年月 平成 29 年 3 月)	
卒業が遅れる見込みの場合, その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他 (具体的に )	
現在の状況および今後の予定・進路等	卒業が遅れることがないように、就職活動の準備に追われている。 3年次に行く予定だった教育実習についても同様準備を進めている。	
就職活動や留学前の単位取得, 教育実習等についての工夫	単位はできるだけとりきってからいくと、単位互換でバタバタすることもなくスムーズだと思う。教育実習に関する説明会が留学中に行われる際は、きちんと支援室に届け出なければならないので注意が必要。	
<b>6. 留学準備, 留学中に役立つ書籍, ウェブサイト等</b>		
書籍, サイト名	詳細 (出版社, URL 等)	コメント

## 勉強に関するレポート

### ○授業登録について

クラスを登録するためには予防接種などの健康面に関するチェックや担当アドバイザーの推薦など、事前にパスしておかなければならない項目がいくつかあります。現地の学生のほうが先に授業登録をしており、人気のある授業は定員に達するのがかなり早いので、自分が受けたい授業をきちんと受けるためにも事前にしっかりと準備を進めたほうが良いです。私自身、担当アドバイザーからの推薦を日本にいるうちにもらう予定でしたが、なかなかメールの返信が来ず、思った以上に登録するまでに時間がかかりました。

### ○授業について

私は全部で4つクラスを取りました。留学生はオリエンテーションとほぼ同時期に英語のテストを受けることになります。このテストは **Listening・Speaking・Reading・Writing**、どの力が足りないのかを判断するもので、テストで **Required** と判定された留学生向けの英語の授業を取らなければなりません。私は **Writing** の授業が **Required** だったので、**Writing** のクラスと、あとで触れますが自分の興味のあるアカデミックのクラスが取れなかったので、全体的な英語力の向上をめざして、先生にお願いして **Speaking** と **Listening** の授業もとらせてもらいました。

次にアカデミックの授業についてですが、私は英米文学専攻なので、文学に関する授業をとる予定でした。しかし文学の授業が思った以上にレベルが高く、事前にいくつか指定された授業を受けていなければならなかったため、取ることができませんでした。また入門のような授業も人気で1年生ですぐうまってしまう様なので、とにかく早めに登録することをお勧めします。結局私は東アジア史の授業を選択しました。この授業は講義形式でかなり規模が大きかったのですが、授業で使ったパワーポイントをアップしてくれたり、試験の際に留学生には辞書の持ち込みを許可してくれたり、かなりサポートが充実していたので、問題なく授業についていくことができました。やはり授業では教授が大切になってくると思いますが、生徒が教授をレートで評価しているサイトがあるのでそういったものをうまく利用して、きちんとサポートしてくれる教授を選んだほうが良いと思います。

### ○宿題・日々の勉強について

**Writing** のクラスでは週に1回ペースでレポートを出さなければならなかったり、**Speaking** のクラスでもかなり短い準備期間でたくさんのプレゼンテーションをしなければならなかったりと、日本に比べて宿題はかなり多い印象を受けました。またアカデミックのクラスの定期試験やレポートは現地の学生むけの課題なため、かなりハードですが学校の **WritingCenter** や同じ授業をとっている現地の学生の力を借りるとよいと思います。私が勉強する中で非常によかったと思う点は、しっかりとサポートしてくれる現地の友達がいたことです。**Writing** のレポートも先生に出す前に必ず1回はチェックしてもらい、自分で書き直してから提出するようにしていました。仲が良い分、自分が疑問に思う点や、書きにくかった点についてもためらうことなく相談することができ、また現地の学生がよく使う自然な表現やレポートを書く際のコツなども教えてもらえたので本当に助かりました。レポートを直してもらうために会ったときに、**Speaking** の練習にも付き合ってもらったり、個人的にしっかりと発音矯正してもらったりと、仲の良い現地の友達がいることは学習面においてもかなり助けになると思います。

## 生活に関するレポート

### ○住居

私は去年ネバダ大学に留学されていた先輩に進めていただいた **Reno International House** に住んでいました。**International House** はハウスマネージャーが中心となってあらゆるサポートをしてくれます。大学近くにはコンビニなどはあるものの、食料品や衣服を十分に買うことのできる大きなショッピングセンターは徒歩圏内にはありません。このように車がないとかなり不便な場合が多いのですが、マネージャーが車を出して買い物や遠くであるイベントまでの送り迎えなども快く引き受けてくれるので車がなくても安心して生活することができます。また食事に関してですが、寮とは違いミールプランなどがないので基本的に自炊になります。一見大変そうに思えますが、自分の食べたいものを自分の食べたい時間に作ることができるので、きちんと食生活を管理することができ、ストレスを感じることも少ないと思います。また毎週日曜日には無料でごはん会が開かれたり、土日を利用してハイキングに行ったりと、定期的にイベントが開かれるので、本当にたくさんの人と交流することができます。部屋はルームシェアか一人部屋かを選ぶことができ、私はプライベートな時間があつたほうが良いと思ったので、一人部屋を選択しましたが、たくさんのひととイベントではしっかり交流して、部屋では一人でゆっくりと勉強したり休んだりして、ストレスを感じることなく他者との時間も自分の時間も大切にすることができたので、非常に良かったなと思います。

### ○衣服

ショッピングセンターなどで服は安く購入できるため、たくさん持っていく必要はないと思います。また現地の学生は思った以上にカジュアルな服装をしており、T シャツ・ジーンズ・スニーカー・バックパックで過ごしている人がほとんどです。特に女の子はスカートやヒールが高い靴を履いている人は少ないので、現地にあつたカジュアルな服装を楽しむとよいと思います。

### ○休日

休日は **International House** のイベントに参加したり、まとまった休日を利用して旅行に行ったりして楽しんでいました。リノからはサンフランシスコまで4時間でバスが出ていたり、飛行機を利用すれば **Los Angeles** にも1時間半ほどでいけるなど、リノ自体にはあまり観光スポットはありませんが、旅行をするにはとても便利が良いところです。旅行中は普段での生活でももちろんですが、特に慣れない旅行先で夜出歩くのはとても危険です。また旅行先ではタクシーを使うことが多くなるとは思います。タクシーもトラブルが起こりやすいので、注意したほうが良いです。夜遅くに短い距離でしたが荷物が多かったのでタクシーに乗ったら文句を言われたり、キャッシュではなくカードで払おうとするとすぐに現金がほしいからということで、カードを使わせてもらえず **ATM** まで連れていかれたりしたこともありました。こういったトラブルをできるだけ避けるためにも、タクシーが必要なときは大きなホテルでちゃんとしたタクシーを呼んでもらうなど、少し注意したほうが良いと思います。特に女の子の場合は安心して旅行を楽しむためにも、現地の人と一緒にいくか、知り合いの男の子と一緒にいくなどして、極力女の子だけで行動するのは控えたほうが良いと思います。

